

## 笠野 眞喜議員



### 庁舎内をペーパーレスに

**笠野議員**

本村も震災でパルプの材料となる多くの木材を損失したことを考えたとき、庁舎内でどれ位の紙を使用しているか、またペーパーレスにした時の費用対効果はどれ位か。震災後の入札資料・設計図書をUSBで簡素化されペーパー削減・経費に努力されている課もある。また連絡事項はLINEでやり取りされている課もあり、ペーパーレスに前向きようだ。使用済みの紙や保存書類の処分費はどれくらいか。森林資源の保護・機密保有など考慮して古紙再生機の導入の考えはないか。

### 導入を検討

**村長**

本村でもペーパーレス化した場合の費用対効果には、タブレットの導入費用やシステム費用が発生することを考えれば、住民向けの文書配布で節減効果は見込めない。しかし、業務の効率化、会議の効率化、保管の容易さや省スペース化を実現できるのであれば、職員の余力を生むことになり住民サービス向上につながるので導入の検討をしたい。

古紙再生機はどれだけの経費節減効果があるか、自治体での導入事例がどれだけあるか、十分に調査したうえ検討したい。

**笠野議員**

ペーパーレスを議会から始めてはどうか。メリットとして

- ①印刷コスト削減や資料劣化を防ぐ
- ②資料が探しやすい
- ③セキュリティーが出来る
- ④デスク周りが綺麗になり環境に優しい



デメリットもある。重要文書はデータ化出来ない、PC・タブレットに慣れてない人などもあるが、庁舎内の文化を変えるという強い気持ちを持って議会からペーパーレスに取り組んではどうか。

**議会事務局長**

本議会の資料は議案から各委員会資料等にいたるまで多種多様にわたる。これらの大量の紙資料をデータ化し、端末上で閲覧できるようにする検討が必要。ただし、議会もペーパーレス化率はゼロではない。全議員LINE・USBを使っている。課題として人的な面・費用面・危機管理面がある。また、議会運営方法や規定の見直しも必要になる。

### 農業後継者の育成は

**笠野議員**

農道・水路の整備が遅れている。このままだと担い手もいなくなる。耕作放棄・遊休農地になる前に対策が必要だ。基幹作物をどう考え、どれ位の収穫量を見込んでいるのか。また農業後継者の育成は。

### 親元就農者にも新たな支援を

**村長**

大規模区画整備以外にも農作業の安全性・作業効率向上のため1枚の農地が20aを超える区画整理を行った場合、事業費の一部補助にも村単独で取組む予定。本村の基幹作物である米や施設園芸の推進はJAや関係機関と連携していきたい。

転作作物や水稲作付けが困難になった水田の転換作物として、そば作付けを推進している。31年度から新しい転作作物としてエゴマを推奨することになっている。また、あか牛(肉)に合う新たな特産品開発としてワイン用ぶどうの試験栽培を25a取組む予定。

農業後継者の育成は村単独事業として地域農業の担い手に適した人材の確保及び育成のため、新規参入育成支援事業を展開し、農業研修生の受け入れ等行っている。他にも就農準備金補助・家賃補助や農業認定者におけるパソコン購入補助など支援している。親元就農者にも村独自の新たな支援が必要と考えている。